



千里文化センター「クラブ」 ●  
2018.01.27.Sat.~1.30.Tue.  
開館時間 午前9時~午後9時

●豊中市役所第二庁舎ロビー  
2018.01.22.Mon.~1.24.Wed.  
開庁時間 午前9時~午後5時15分

L

last



O

once



O

object



P

picture

●豊中市立文化芸術センター  
2018.01.12.Fri. **START**  
世界のしょうない音楽祭にて、旧プールを題材にしたアート×絵本作品などを展示。又、市民参加のワークショップを実施。その後公民館や市役所を巡回展示していきます。  
展示時間 午後3時~午後9時

●豊中市立庄内公民館  
2018.1.13.Sat. ~ 1.21.Sun.  
展示時間 午前9時~午後9時



# 世界の庄内 / プールの記憶の巡回展

## 庄内温水プールに留められた、庄内の記憶が巡り出す

豊中市立庄内温水プール跡地 再整備 大阪大学工学部 建築・都市人間工学研究室×豊中市 連携プロジェクト2017

巡回展及びプロジェクトの詳細問い合わせ先 大阪大学工学部 建築・都市人間工学研究室 shonai.loop@arch.eng.osaka-u.ac.jp

# THIS IS 「SHONAI L.O.O.P」

～豊中市最南端から始まる“LOOP” LIFE

ピーク時には年間14万人もの入館者を集め、デザイン的にもユニークな建築であった豊中市庄内温水プールは、利用者から惜しまれながら耐震性の問題から2011年に休館しました。このプール跡を含むグリーンスポーツセンターは、2020年4月に新しいスポーツ施設として生まれ変わる予定です。2017年、この新しいスポーツ施設の基本計画を、大阪大学の建築・都市人間工学研究室の学生が、地域住民の方々と対話しながら作成しました。その計画では、この場所が、スポーツ、健康、緑、芸術などをテーマに人が集まり、多様な居場所を作ると同時に交流が生まれ、その交流の輪が庄内地域をはじめ広域に広がることを目指しています。そこで、そのような交流拠点づくりに向け、基本計画のコンセプトである“LOOP=回遊性、循環、環状”をテーマにした、建築×アートによる「SHONAI L.O.O.P」プロジェクトを実践します。2017年度は、「世界の庄内/プールの記憶の巡回展」を市内4箇所で開催し、多くの市民に愛された庄内温水プールの記憶を蘇らせ、2020年のリニューアルオープンに向けて記憶を紡いでいきます。

伊丹 康二 (大阪大学/建築・都市人間工学研究室 助教 元豊中市市有施設有効活用委員会委員長)



**設計プロセス紹介**

設計チームは地元住民懇話会に出席。

模型を元に意見交換を行う。

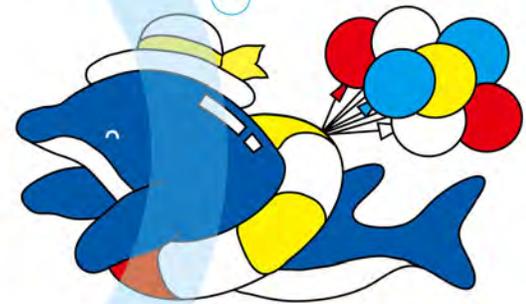
住民の要望やアイデアも取り入れ誰もが楽しめる多世代が交流出来る施設へと生まれ変わります！

## HEALTH×NATURE×CULTURE ∞ 交流

グラウンドの外周を整備しエリア全体を一体的に計画することで、回遊性と多様な居場所を創造します。そこは人々の「健康」を育む場となり、またそしてスポーツ観戦や井戸端会議を通じた人々の新たな「交流」の場となります。「健康（スポーツ）」を通じて新たな「交流」が生まれるような、多くの世代の人に愛される空間を目指します。



こんにちは！  
この地下には下水処理場があり、豊中市内から流れ込む下水を浄化して自然に戻す循環（じゅんかん）をおこなっているよ！



● イルカの名前を募集します！

SHONAI L.O.O.P projectのキャラクターのイルカは旧プールの床に描かれていました。今回の場のリニューアルに伴い、大阪大学チームが現地でも描き直し、プールの枠から解放！！庄内地区や豊中市を自由に回遊していきます。

